

人間工学の後半レポートの実施要項(2019.7.4)

担当：水戸和幸

- 提出期限 …… 8月10日（土）18:00（時間厳守）
- 提出方法 …… WebClassにて提出（PDF形式）
- レポート形式 …… A4サイズで10ページ以内（図表を含む）

課題1

感覚知覚特性の計測として心理物理学定数について講義で説明しました。そこで、心理物理学定数の一つである「主観的等価点」の計測をミュラー・リヤーの錯視図を用いて実施し、以下の点について考察して下さい。なお、実験方法等については、WebClassで確認して下さい。

- 矢羽の角度（30°、45°、60°）が錯視量に及ぼす効果
- 矢羽の長さ（短、中、長）が錯視量に及ぼす効果

課題2

人間の視知覚機能として「錯視（Visual Illusion）」があります。この機能は、我々の日常生活にとって必要と考えますか、それとも不要と考えますか。

主張とその根拠や前提を明確にして述べて下さい。